

2023（令和5）年度決算について

© Osaka Metropolitan University All Rights Reserved.



当期総利益 220億円 (前年比+227億円)

(内訳)

・ 大学	237億円	(前年比+238億円)
・ 病院	▲20億円	(前年比▲13億円)
・ 高専	3億円	(前年比+2億円)

(会計基準改訂に伴う現金の裏付けのない臨時利益)

235億円
0.2億円
3.6億円

(主な増減)

収益

- ・ **授業料収益** 86億円 (+11億円)
会計基準改訂による固定資産購入分の収益化による増 (学生数に大きな変動はなし)
- ・ **附属病院収益** 373億円 (+37億円)
本院：入院収益 +30.2億円、外来収益 +6.4億円
- ・ **補助金等収益** 24億円 (▲22億円)
新型コロナウイルス関連補助金の減少▲28億円

費用

- ・ **教育研究経費** 113億円 (+10億円)
新大学キャンパス整備委託費 +8億円
国内外旅費 +2億円
奨学費(授業料無償化) +1億円
- ・ **人件費** 448億円 (+9億円)
大学常勤教員 +1.7億円
大学非常勤教員 +1.4億円
病院常勤職員 +6.5億円
- ・ **診療経費** 260億円 (+17億円)
本院：医薬品費+11.0億円、診療材料費 +5.0億円

貸借対照表 主な増減

建物

696億円 (前年比 +109億円)

新大学キャンパス整備事業の竣工による増加

- ・中百舌鳥キャンパス工学新棟 +63億円
- ・中百舌鳥キャンパス新センター棟 +24億円
- ・杉本キャンパス理学新棟 +46億円

建設仮勘定

211億円 (前年比 +114億円)

新大学キャンパス整備事業の進捗による増加

- ・森之宮学舎整備事業 +113億円
- ・看護学舎整備事業 +41億円
- ・新大学建物完成による本勘定への振替 △45億円

利益剰余金

312億円 (前年比 +205億円)

会計基準改訂に伴う臨時利益の計上による増加

- ・当期総利益 +220億円
- (会計基準改訂に伴う臨時見返戻入 +239億円)

資産見返負債、長期繰延補助金、預り施設費

計上なし (前年比 ▲345億円)

会計基準改訂により資産見返負債が廃止されたことによる収益化および勘定科目の変更による増加
補助金財源によるものは「長期繰延補助金」に振替、施設費財源によるものは、「預り施設費」に振替。その他は全て収益化(臨時収益の計上)

- ・資産見返補助金 → 長期繰延補助金 10億円
- ・建仮見返施設費 → 預り施設費 96億円
- ・その他資産見返 → 臨時見返戻入 239億円

預り施設費

209億円 (前年比 +209億円)

会計基準改訂に伴う、建設途中事業の預り金計上による増加

- ・過年度見返負債からの振替 + 96億円
- ・過年度見返負債から本勘定への振替 ▲ 45億円
- ・今年度建設途中の事業分 +157億円